

20回の歩みを共にした、三遠ネオフェニックス

大会当日は、三遠ネオフェニックスの選手やOB、コーチが来場。バスケットボールを頑張る子どもたちにエールを送るとともに、交歓会と一緒に盛り上げてくれています。プロバスケットボール選手という子どもたちの夢の存在として、サーラ杯で感動や希望を届けています。



三遠ネオフェニックス SAN-ENアンバサダー 鹿毛 誠一郎 さん

サーラ杯名物となっている交歓会には、初回の2005年から毎年参加させていただいています。フリースロー大会では毎年何本連続で入るのかとても楽しみにしています。人に「やらされる」のではなく自分の意志で「やる」事が成長につながります。これからも素敵なチームメイトと一緒に成長していったほしいなと思います。サーラ杯参加者の中からフェニックスの選手が出てくれたら最高です。

©SAN-EN NEOPHOENIX

記念メッセージ

これまでにサーラ杯に出場した子どもたちの中から、多くのプロバスケットボール選手が誕生しています。ここでは2人の選手から届いた子どもたちへの応援メッセージを紹介します。

#30 レバンガ北海道 富永 啓生 選手



©LEVANGA HOKKAIDO

サーラ杯が開催20回を迎えられたとのこと、おめでとうございます。愛知県でこれだけ大規模な大会はほかにはないと思いますし、毎年楽しみにしていました。フリースロー大会で3位になったことは今でも思い出として残っています。このような大会に参加する機会を得られる子どもたちはすごく恵まれていると思いますし、手にした貴重な機会を自分のものにして成長していったら、同じ大会に参加した選手の一人としてうれしく思います。

#14 トヨタ自動車アンテロープス 平下 愛佳 選手



©toyota_antelopes

長久手ミニバスケットボールクラブでサーラ杯に出場していました。当時はオリジナルブラカードをつくったり大きな会場で試合ができた、毎年楽しみでした。20回記念大会に関われることをうれしく思います。上のレベルを目指す皆さん！とにかく楽しくバスケットに打ち込んで頑張ってください。10月のWリーグ開幕戦では、私の妹が所属するトヨタ紡織と対戦します。愛知県開催も今後あるのでぜひ試合を観にきてください。待ってま〜す！

第20回記念大会

8月13日(水)から15日(金)にかけて、豊橋市総合体育館で「第20回記念大会 サーラ杯2025アイチサマーフェスティバル」が開催されました。20回目の節目を迎えた今大会には、愛知県内の男女111チーム、およそ1,700名の小学生が集結。交流戦では熱戦が繰り広げられ、会場は大きな盛り上がりを見せました。記念すべき第20回大会を祝し、サーラグループからはバスケットボール、三遠ネオフェニックスの選手のサイン色紙を各チームに贈りました。また、今回初めて設けられた三遠ネオフェニックスの選手への質問コーナーでは、憧れの選手に目を輝かせながら、たくさんの質問が飛び交いました。フリースロー大会や、個性豊かなブラカードが並んだコンテストも行われ、会場は笑顔と活気に満ち溢れました。記念大会は、子どもたちの心に深く刻まれる大会となりました。



ボールを贈呈するサーラE&L東三河 北川社長



選手への質問コーナー



3日間、各コートで熱戦が繰り広げられた

担当部署より

サーラグループでは、サーラ杯の他にも様々な協賛活動を行っています。活動内容については、SALAポータルサイトのrakumoボードで随時発信していますので、ぜひご覧ください。ちなみにサーラ杯のニュース(8/29投稿)では、特典付きのクイズを実施中です。皆さまのご参加をお待ちしています！

20回の歴史を振り返り、大会に携わっていただいた方々への感謝を込めて、記念ムービーを制作しました。

記念ムービーはこちらから ▶▶▶



第20回記念大会

サーラ杯2025

AICHI
SUMMER
FESTIVAL



サーラ杯が2005年の初開催から今年で20回目の節目を迎えました。子どもたちの夏の一大イベントとなっている大会の軌跡を紹介します。

2005年から続く、サーラ杯の物語

サーラ杯は、バスケットボールを通じて、子どもたちの心と体の健全な成長を応援し、地域社会の発展に貢献することを目指しています。愛知県のミニバスを盛り上げ、地域の子どものために夢や目標となる大会を開催したいとの思いから、2005年にサーラグループと地域が手を取り、設立されました。愛知県全域の大会で、これまでに2,047チーム、延べ32,000人以上の子どもたちが出場し、多くの夢や思い出を育んできました。

交歓会という特別な時間

サーラ杯は国内最大級となる交歓大会。約1,700人の小学生が会場を訪れプロ顔負けのプレーでゴールを目指します。それに加えて、バスケットボールを通じて仲間との絆を深められる点も魅力です。チームメイトとの協力はもちろん、他チームとの交流も大切にしています。

ブラカードコンテスト：

各チームの個性と熱意が込められたブラカードが、大会を華やかに彩ります。特に優れた作品は、優秀作品として表彰されます。

フリースロー大会：

日頃の練習の成果を発揮する、全員参加の真剣勝負です。連続で何本シュートを決められるかを競い合います。

シンボルマークコンテスト：

コロナ禍以前に行われていた企画で、子どもたちが描いたバスケットボールに関するポスターの中から、子どもたちの投票で優秀作品が選ばれます。

これらの企画により、競技の枠を越えた交流の輪が広がり、忘れられない体験を届けています。バスケットボールに熱中する多くの子どもたちが心待ちにするイベントです。

未来へつながる新しい一歩

近年では、未来を担う子どもたちへのバスケットボールを始めるきっかけづくりとして、未就学児が楽しめるフリースローチャレンジも始まりました。スポーツの楽しさをより多くの子どもたちに知ってもらいたい、そんな願いがこの企画には込められています。2005年の初開催から、たくさんの夢や思い出を作ってきたサーラ杯。これからも、地域の未来を担う子どもたちの成長と夢の実現を応援していきます。



Photo
graph